

室蘭工業大学-学報

NO.683



第80回むろらん港まつり「総参加市民おどり」への参加者集合写真
(7ページに関連記事あり)

2026年 9 月号

目 次

◇ トピックス ◇

北洋銀行ものづくりサステナフェア2026に本学のブースを出展……………	1
本学大学院生が国際学会WCTR 2026において「Best Paper Prize by Young Author」 を受賞……………	2
土木学会AI・データサイエンス論文集において本学の学生が「デジタルツイン・DX 奨励賞」を受賞……………	4
クモの天然接着剤はどのように固まるのか？— 独自開発の二次高調波発生顕微鏡で 結晶化の瞬間を可視化 — ……	5
第80回むろらん港まつり「総参加市民おどり」に参加……………	7
パブリックリレーションズオフィスニュースレター第8号を発行……………	8
令和8年度オープンキャンパスを開催……………	9
本学学生が2026年度日本金属学会・日本鉄鋼協会両北海道支部合同サマーセッションに おいて日本鉄鋼協会北海道支部奨励賞を受賞……………	10
YAMATO Kitchenにエアコンの寄贈 ……	11

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ……………	12
受託研究等の受入れ……………	13
奨学寄附金の受入れ……………	14

◇ 人 事 ◇

人事異動……………	15
-----------	----

◇ 会 議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	16
------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事……………	17
----------------	----

◇ 人物図鑑 ◇

室蘭工業大学人物図鑑 part.55～56 ……	18
--------------------------	----

トピックス

北洋銀行ものづくりサステナフェア2026に 本学のブースを出展

令和 8 年 7 月 22 日 (水)、アクセスサッポロ (札幌市) で開催された「北洋銀行ものづくりサステナフェア 2026」(テーマ:「北海道のポテンシャル 実現に向けた第一歩」)に出展し、ものづくり関連企業の技術担当者や人事担当者、ならびに見学に訪れた札幌近郊の高校生に向けて、本学の研究・教育活動を紹介しました。

本学ブースでは、「セマンティック通信による低コスト広域AIoTシステムの構築」と題し、しくみ解明系領域 システム情報学ユニット データサイエンスコミュニケーション研究室 (DSCOM) の李 鶴准教授と荒木柊汰さん (学部 4 年) が開発したシステムを展示しました。来場者に対し、セマンティック通信技術を活用した低コ

ストかつ広域なAIoTシステムの仕組みや活用可能性について紹介しました。

また、会場内で行われた「Business Spotlight ～3 Minute Pitch～」では、李教授が登壇し、セマンティック通信技術とLPWA (Low PowerWide Area) を組み合わせた低通信量の獣害監視システムに関する実証試験の成果を紹介しました。

本学ブースには約60名が来場し、展示システムや研究内容を紹介したポスターに関心を寄せ、説明を熱心に聞く姿が見られました。本学の先進的な研究成果を企業関係者や高校生に広く発信する貴重な機会となりました。



Business Spotlight ～3 Minute Pitch～ にて
発表する李准教授



展示ブースの様子

本学大学院生が国際学会WCTR 2026において 「Best Paper Prize by Young Author」を受賞

令和 8 年 7 月、本学大学院工学研究科博士後期課程 2 年の桐木 峻平さんが、フランス・トゥールーズで開催された World Conference on Transport Research, Toulouse 2026 (WCTR 2026 Toulouse) において「Best Paper Prize by Young Author (若手研究者優秀論文賞)」を受賞しました。

WCTR (World Conference on Transport Research) は、交通・運輸分野における世界最大級かつ最も権威ある国際学会の一つです。今回の学会には、世界各国から約 1,900 件の論文が投稿され、約 1,500 名の研究者・実務者が参加しました。また、2014 年ノーベル経済学賞受賞者であるジャン・ティロール教授 (トゥールーズ第 1 大学) が基調講演を行うなど、世界トップレベルの研究者が集う国際学会として開催されました。

本賞は、35 歳以下の若手研究者による発表論文の中から、学術的独創性や社会的意義、発表内容などを総合的に評価し、特に優れた研究に授与されるものです。

《受賞概要》

受 賞 者：桐木 峻平 (大学院 工学研究科 博士後期課程
工学専攻 先端環境創生工学コース 2 年：有村研究室)

学 会 名：World Conference on Transport Research,
Toulouse 2026 (WCTR 2026 Toulouse)

受 賞 名：Best Paper Prize by Young Author

受賞論文：Dynamic Core Profiles: Quantifying Temporal
Stability of Walk-Oriented Activity Zones via
Multilayer Community Detection

著 者：桐木 峻平、有村 幹治

【WCTR 2026 公式サイト】 <https://www.wctr2026.fr/>

《研究概要》

近年、徒歩や自転車などで生活に必要な施設へ短時間でアクセスできる「X-minute City」の実現に向けた都市づくりが世界的に注目されています。そのためには、人々の日常的な活動範囲や、その時間的な変化を把握することが重要です。本研究では、スマートフォンの

GPS 位置情報データを活用し、人々の活動エリアの広さ、まとめ、時間的な安定性を総合的に評価する新たな分析手法「Dynamic Core Profiles (DCP)」を開発しました。本手法を用いて札幌市の大規模な人流データを分析した結果、徒歩を主体とする住民の活動エリアは、平日では 4 種類、休日では 3 種類に分類できることを明らかにしました。また、都心部では活動エリアが時間帯によって大きく変化する一方、郊外では夜間に活動範囲が縮小するなど、都市の特性に応じた特徴的な行動パターンを可視化することに成功しました。本研究成果は、人々が暮らしやすく歩きやすい都市の実現に向けた都市計画や交通政策、スマートシティの設計などへの活用が期待されます。

【受賞者のコメント】

大学院工学研究科博士後期課程 工学専攻
先端環境創生工学コース 桐木 峻平さん

この度は WCTR において、このような栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究は、有村先生のご指導をはじめ、査読者の皆様からいただいた貴重なご助言に支えられながら進めてまいりました。まだ多くの課題が残されていますが、今回いただいたご意見を今後の研究に生かし、さらに研究内容を発展・深化させていきたいと考えております。このたびは誠にありがとうございました。

【指導教員のコメント】

室蘭工業大学大学院工学研究科 教授 有村 幹治

WCTR は交通・運輸分野で世界最高峰の国際会議であり、本賞は若手研究者を対象とした最も権威ある賞の一つです。世界中から集まった優れた研究の中で、本学大学院生の研究が高く評価されたことを大変嬉しく思います。今回開発した手法は、人々の活動実態をより精緻に把握できる新しい分析技術であり、今後の都市計画や交通政策、スマートシティの実現に大きく貢献することが期待されます。今後も国際的に評価される研究成果の創出に取り組んでまいります。



国際学会WCTR 2026の様子①



国際学会WCTR 2026の様子②



若手研究者優秀論文賞を受賞した桐木峻平さん

土木学会AI・データサイエンス論文集において 本学の学生が「デジタルツイン・DX奨励賞」を受賞

本学大学院博士前期課程環境創生工学系専攻土木工学コース2年の勝浦亜海さんが「デジタルツイン・DX奨励賞」を受賞しました。

本賞は土木学会AI・データサイエンス論文集 7巻(2026)に掲載されたデジタルツイン・DXに関連した論文のうち、革新性・将来性・社会性のいずれかに優れ今後が期待される論文として3件が選定され、そのうちの1件となります。

《受賞内容》

勝浦 亜海（大学院博士前期課程環境創生工学系専攻土木工学コース2年：中津川研究室）
「地下空間を有する都市の洪水氾濫を可視化できるデジタルツイン技術の提案」

2026年5月25日（共著者：中津川誠、内村仁貴）

https://doi.org/10.11532/jsceii.7.1_209

気候変動で激甚化が予想される水害に対し、被災の自分事化と自主的な早期避難の促進を図ることが必要です。本研究では、そのような目的で札幌市の中心部を流れる豊平川の氾濫シミュレーションをおこない、その結果と

3D仮想空間を統合し、地上及び地下空間の浸水を表現するデジタルツインを作成したものです。このような技術はとくに水害に脆弱な都市部さらに群衆状態にある地下空間の防災減災対策に活かされるものと期待されます。

＜参考＞

土木学会構造工学委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会ホームページ

<https://committees.jsce.or.jp/struct1002/node/9>

【受賞者のコメント】

この度、令和8年6月に開催された「デジタルツイン・DXシンポジウム2026」にて「デジタルツイン・DX奨励賞」をいただきました。

この賞は、日頃より熱心にご指導いただいております中津川教授をはじめ研究室のメンバーやOBの方々の温かいサポート、そして研究にご協力いただいた関係者の方々の支えがあって得られた成果だと感じております。支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今回の受賞を大きな励みとして、これからも論文執筆に誠実に取り組み、残りの学生生活をより充実したものにしていきたいです。



「デジタルツイン・DX奨励賞」を受賞した勝浦亜海さん

クモの天然接着剤はどのように固まるのか？

— 独自開発の二次高調波発生顕微鏡で結晶化の瞬間を可視化 —

室蘭工業大学の趙 越 准教授は、豊田工業大学の藤 貴夫 教授と協力し、クモの粘着糸に付着する天然接着剤の固化過程を二次高調波発生顕微鏡（SHG顕微鏡）で解析しました。

その結果、固化に伴って無機塩が結晶化し、規則的な結晶構造が形成されることを明らかにしました。

本研究成果は、クモの天然接着剤が湿度変化に応答する仕組みの解明に加え、生体材料の構造解析や新たなバイオマテリアル開発への応用が期待されるもので、令和8年7月6日に米国化学会（American Chemical Society）刊行の学術誌「Langmuir」の表紙に選出されました。

研究のポイント

- クモの天然接着剤が湿度変化に伴って結晶化する様子を、二次高調波発生顕微鏡により可視化しました。
- 二次高調波信号を利用することで、天然接着剤中に形成される無機塩結晶を選択的に検出できることを示しました。
- クモの天然接着剤の湿度応答メカニズムの理解を深めるとともに、生体材料の非破壊構造解析への応用が期待されます。

研究の概要

円網を張るクモは、粘着糸に数珠状の天然接着剤（※1）を付着させることで昆虫を捕らえています。この天然接着剤は、高い粘着力と優れた環境適応性を兼ね備えており、新しいバイオマテリアルの手本として注目されています。しかし、その優れた機能を支える内部構造が湿度の変化によってどのように変化するのかは、これまで十分に分かっていませんでした。本研究では、二次高調波発生顕微鏡（※2）を用いて天然接着剤の内部構造を観察し、高速カメラ（※3）および走査型電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析（SEM-EDS）（※4）と組み合わせて解析しました。その結果、天然接着剤の固化に伴って無機塩が結晶化し、規則的な結晶構造が形成されることを明らかにしました。また、この結晶化は湿度変化による急速な脱水によって引き起こされることを

示しました。本研究成果は、クモの天然接着剤が湿度に応答する仕組みの理解を深めるだけでなく、生体材料の構造解析や新たなバイオマテリアルの研究・開発への応用が期待されます。

研究の内容

クモが昆虫を捕らえる際には、粘着糸に付着した天然接着剤が獲物の表面に瞬時に広がり、高い接着力を発揮します。この天然接着剤は、湿度の変化によって性質が大きく変化することが知られていますが、その過程で内部にどのような構造変化が起こるのかは、これまで十分に分かっていませんでした。特に、天然接着剤内部で形成される無機塩の結晶構造を選択的に観察することは困難でした。

本研究では、研究グループが独自に開発した二次高調波発生顕微鏡を用いて、天然接着剤内部の構造変化を可視化しました。さらに、高速カメラにより天然接着剤が対象物表面へ広がる様子を観察し、走査型電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析（SEM-EDS）によって、形成された結晶の形状と元素分布を解析しました。

その結果、図1に示すように二次高調波信号は天然接着剤中のカリウム（K）、リン（P）、酸素（O）が局所的に集まった樹枝状結晶と一致し、その主要な起源がリン酸二水素カリウム（ KH_2PO_4 ）の結晶であることを明らかにしました。また、天然接着剤では急速な脱水に伴って無機塩が結晶化し、樹枝状の規則的な結晶構造が形成されることを確認しました。これにより、湿度変化に応答して生じる天然接着剤内部の構造変化の一端が明らかとなりました。

本研究は、クモの天然接着剤が環境変化に応答する仕組みの理解を深めるとともに、二次高調波発生イメージングが、生体材料内部で生じる結晶化現象を非破壊・非標識で可視化できる有効な解析手法であることを示したものです。今後は、生体由来材料やソフトマテリアルなど、さまざまな材料の構造解析への応用が期待されます。

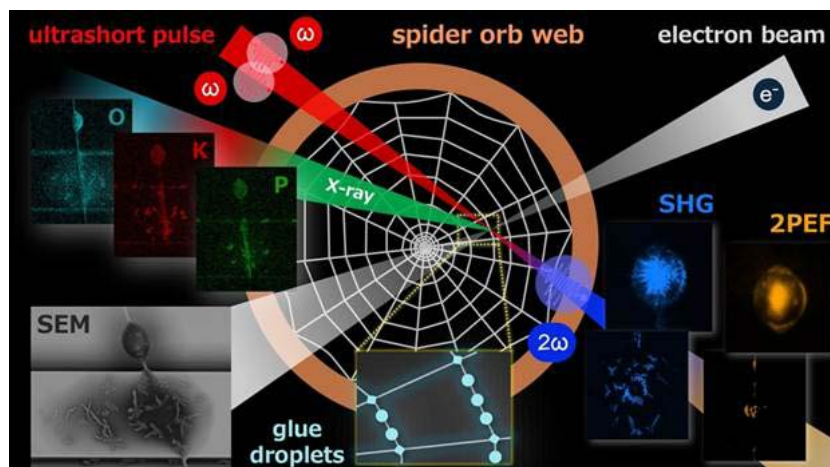


図1. クモの天然接着剤を二次高調波発生 (SHG) 顕微鏡および走査型電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析 (SEM-EDS) により解析した結果。対象物へ接触した天然接着剤では、SHG信号を示す樹枝状の構造が観察された。SEM-EDSによる元素分析では、この構造にカリウム (K)、リン (P)、酸素 (O) が局所的に集積しており、無機塩結晶の形成を示しています。

今後の展望

本研究で確立した二次高調波発生イメージングによる解析手法をさらに発展させることで、クモの天然接着剤だけでなく、生体材料やソフトマテリアル内部で生じる結晶化や構造変化を、その場で非破壊・非標識に可視化できる技術へと展開していきます。今後は、本手法をさまざまな材料へ応用し、環境変化に応答する微細構造の形成メカニズムの解明を目指します。

論文情報

論文名: Second-harmonic generation imaging of humidity-induced salt crystallization in spider aggregate glue

雑誌: Langmuir

著者名: Yue Zhao *, Takao Fuji (* 責任著者)

DOI: <https://doi.org/10.1021/acs.langmuir.6c01881>

研究助成

本研究は、科学研究費助成事業 (JP21K14556) の助成を受けて実施されました。

用語解説

※1 クモの粘着糸に付着する天然接着剤

クモの巣の捕獲糸に数珠状に形成される微小な天然の粘着液滴 (aggregate glue droplets) です。主にタンパク質、水分、低分子化合物および無機塩から構成され、周囲の湿度に応じて粘性や物性が変化するという特徴を持っています。昆虫を効率よく捕らえるための重要な役割を担っており、生体由来の高機能材料として注目され

ています。

※2 二次高調波発生顕微鏡

反転対称性 (中心対称性) を持たない構造にレーザー光を照射した際に、照射光の2倍の周波数 (半分の波長) を持つ光が発生する非線形光学現象「二次高調波発生 (Second-Harmonic Generation: SHG)」を利用した顕微鏡です。中心対称性を持たない結晶や規則的な分子配列から選択的に信号が得られるため、生体材料内部の規則的な構造を非破壊・非標識で可視化することができます。本研究では、超短パルスレーザーを光源とした研究グループ独自の顕微鏡システムを用いて、天然接着剤中に形成された無機塩結晶を選択的に観察しました。

※3 高速カメラ

1秒間に数百枚から数万枚以上の画像を連続して撮影できるカメラです。本研究では、1秒間に1,000枚の速度で撮影を行い、天然接着剤が対象物表面へ瞬時に広がる様子を詳細に観察しました。

※4 走査型電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析 (SEM-EDS)

電子顕微鏡で試料表面の微細な形状を観察するとともに、元素ごとに放出される特性X線を測定することで、試料を構成する元素の種類と分布を調べる分析手法です。本研究では、天然接着剤中に形成された結晶の元素組成を解析しました。

研究に関する問い合わせ

室蘭工業大学 大学院工学研究科 准教授
趙 越

E-mail: zhaoyue@muroran-it.ac.jp

第80回むろらん港まつり「総参加市民おどり」に参加

令和8年7月25日(土)、室蘭市中島町で開催された「第80回むろらん港まつり 総参加市民おどり」に、本学の教職員と学生が参加しました。

本学では、教育・研究活動に加え、地域社会との連携を重視し、地域の行事や活動へ積極的に参加することで、地域の発展に貢献し、親しまれる大学を目指しています。本行事への参加は平成19年度から続いており、雨天中止となった年を除き、今回で12回目の参加となりました。

当日は、本学公式キャラクター「ムロぴょん」をはじめ、教職員と学生あわせて約50名が参加し、「北海盆唄」と「室蘭ばやし」の音色に合わせて、市民の皆さまとともに踊りながらまつりを盛り上げました。

教職員と学生が一体となって参加し、地域の皆さまと交流を深める機会となりました。

本学は今後も、地域とのつながりを大切にしながら、地域社会の活性化に貢献してまいります。



踊り歩く教職員と学生



参加者の集合写真

– 8 –

令和8年度オープンキャンパスを開催

令和8年8月1日(土)、本学キャンパスにて「令和8年度オープンキャンパス」を開催しました。当日は札幌市や室蘭近郊をはじめ、道外からも多くの高校生やご家族の皆さまにお越しいただき、来場者数は約1,100名にのびりました。

午前・午後の2部制で実施したプログラムでは、各学科・コースの学びを体感できる「オープンラボトリ(模擬講義・体験学習・実験)」をはじめ、施設や学生寮を巡る「キャンパス周辺バスツアー」、図書館等を散策する「歩いて見学」を実施し、参加者の皆様には、本学の研究や教育内容等に直に触れ、理解を深めていただきました。

また、特設ブースでは、デモ・パネル展示による「学科紹介」のほか、「入試・奨学金相談」や「学生生活相談(大学生協主催)」を設け、進路や学生生活に関する

疑問にお答えしました。さらに、保護者向けの「講演会・説明会」や、現役学生の生の声を届ける「むろこーほー特別対談」も行われ、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。

このほか、リケジョ応援企画として実施した「室工大リケジョ対談」や「おしゃべりCafe」も盛況となり、過去問等のお持ち帰りコーナーでは用意した部数がすべてなくなるほどの賑わいを見せました。

参加者からは、「教育内容を実際に体験できて良かった」「大学の温かい雰囲気が伝わってきた」といった声が多く寄せられ、大盛況のうちに幕を閉じました。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

【室蘭工業大学オープンキャンパス2026年ダイジェスト動画】

<https://youtu.be/KrfrgHpQF3Q>



本学学生が2026年度日本金属学会・日本鉄鋼協会 両北海道支部合同サマーセッションにおいて 日本鉄鋼協会北海道支部奨励賞を受賞

令和 8 年 7 月 24 日 (金) に、北海道大学（フロンティア
応用科学研究棟）で開催された「2026年度 日本金属学
会・日本鉄鋼協会両北海道支部合同サマーセッション」
において、本学大学院生 片岡愛介さんが行った講演に
対して日本鉄鋼協会北海道支部奨励賞を受賞しました。
支部奨励賞は、支部定期講演会にて優れた研究発表を
行った学生 1 名に授与されます。

《受賞内容》

日本鉄鋼協会北海道支部奨励賞

片岡愛介（機械製作学研究室 大学院工学研究科 博士
前期課程 生産システム工学系専攻 機械ロボット工学
コース 2 年）

講演題目：二次炭化物の前析出を利用した27%Cr鋳鉄

のパーライト変態促進

2026年度 日本金属学会・日本鉄鋼協会両北海道支部合
同サマーセッション（令和 8 年 7 月 24 日）

共同研究者：長船康裕 講師

【受賞者のコメント】

この度は、2026年度日本金属学会・日本鉄鋼協会両北
海道支部合同サマーセッションにおいて、日本鉄鋼協会
北海道支部奨励賞を受賞することができ、大変光栄に思
います。熱心にご指導いただいた長船先生をはじめ、関
係者の皆様に心より感謝申し上げます。ポスター発表で
は、多くの方々と本研究について議論する機会をいただ
き、新たな発見を得ることができました。この経験を今
後の研究に活かし、より一層精進してまいります。



左：受賞した片岡愛介さん、
右：日本鉄鋼協会北海道支部 堀本雅之支部長



表彰状

YAMATO Kitchenにエアコンの寄贈

令和 8 年 7 月、一般社団法人室蘭工業大学同窓会様、並びに室蘭工業大学学生後援会様から、YAMATO Kitchen（学生食堂）に 4 台のエアコンを寄贈していただきました。

利用者の学生からは「以前までは、テストなどで自炊

ができないとき、暑さに苦しみながら学食を食べていました。今では、クーラーが入ったことにより快適になり、食事をする時間が憩いのひと時となっております。」との声が聞かれ、大変好評の様子でした。



YAMATO Kitchenに設置されたエアコン



寄贈銘板

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 教 授 内 海 政 春	中 小 企 業	1,200
もの創造系領域 教 授 風 間 俊 治	大 企 業	186
もの創造系領域 教 授 風 間 俊 治	大 企 業	186
もの創造系領域 教 授 廣 田 光 智	そ の 他	650
もの創造系領域 教 授 廣 田 光 智	大 企 業	1,700
もの創造系領域 教 授 水 上 雅 人	大 企 業	850
もの創造系領域 准教授 楠 本 賢 太	大 企 業	2,860
もの創造系領域 助 教 川 口 悟	大 企 業	5,330
しくみ解明系領域 教 授 近 藤 敏 志	中 小 企 業	10,054
しくみ解明系領域 教 授 山 中 真 也	大 企 業	1,950
合 計 (10件)		24,966

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額 (千円)
しくみ解明系領域 教授 山中 真也	地方公共団体	1,000
しくみ解明系領域 准教授 泉 佑太	国	11,021
しくみ解明系領域 准教授 李 鶴	国	11,505
合 計 (3件)		23,526

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
公益財団法人日揮・実吉奨学会	工 学 研 究 助 成	2,000
公益財団法人日揮・実吉奨学会	工 学 研 究 助 成	2,000
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	500
ダイキン工業株式会社	工 学 研 究 助 成	800
合 計（4件）		5,300

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和 8 年 9 月 1 日	〈採 用〉 クリエイティブコラボレーションセンター 事務補佐員	小 林 加 奈	
令和 8 年 8 月 9 日	〈雇用期間更新〉	松 本 三奈子	大学院工学研究科 事務補佐員
令和 8 年 9 月 1 日		工 藤 千 尋	監査室 事務補佐員

学 内 会 議

学内各種委員会等の開催

< 7 月25日～ 8 月24日 >

開催日時 令和 8 年 7 月28日(火)

会 議 名 第 7 回企画戦略会議

学内行事

8月1日(土) 令和8年度オープンキャンパス
8月13日(木) 全学一斉休業(17日まで)
8月17日(月) 次世代リーダー育成塾in室蘭工業大学
2026(19日まで)

学外行事

7月25日(土) 第80回むろらん港まつり「総参加市民お
どり」(室蘭市)

室蘭工業大学 人物図鑑

室蘭工業大学に所属する教員・職員に
専門分野、業務内容、室工大の
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part
55

趙 越



- ①准教授、光工学・表面分析計測
- ②少人数だからこそ、一人ひとりが研究の主役になれる。それが室蘭工業大学です。
- ③体育館と職員宿舎の間に立つ高い木。何気ない場所ですが、個人的にはお気に入りの風景です。

Part
56

今 井 良 二



- ①教授、航空宇宙工学、伝熱工学、微小重力科学
- ②校舎がきれい。学生、教職員一丸となって室工大を盛り上げようと頑張ってる。
- ③中庭。春は桜、秋は紅葉、その他季節の花々を楽しめる。

編集後記

◆ ムロびよんのラッピングが施された公用車（ムロびよんEV）も、すっかりおなじみの存在になってきたのではないのでしょうか。

先日はムロびよんEVで白鳥大橋やトッカリショなど、室蘭を代表する絶景スポットを巡ってきました。その様子を収めた動画を本学公式YouTubeチャンネルで公開していますので、まだご覧になっていない方はぜひチェックしてみてください。

今後は、10月に東京で開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2026」への展示をはじめ、都内のスクランブル交差点や東京スカイツリー周辺を走行する予定です。室蘭を飛び出し、さらに活躍の場を広げていきます。

学内や市内でムロびよんEVを見かけた際に、手を振ってくださったり写真を撮ってくださったりする方も多く、大変うれしく思っています。一方で、見て見ぬふりをされる方もちらほら……（笑）。

もし見かけた際には、ぜひ気軽に手を振っていただけると励みになります！

これからも、室蘭工業大学と室蘭の魅力を発信するムロびよんEVの活躍にご期待ください！



（Garoon：総務広報課秘書広報係、E-mail：koho@muroran-it.ac.jp）

（総務広報課秘書広報係）



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行

室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5008

■印刷所

株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308